

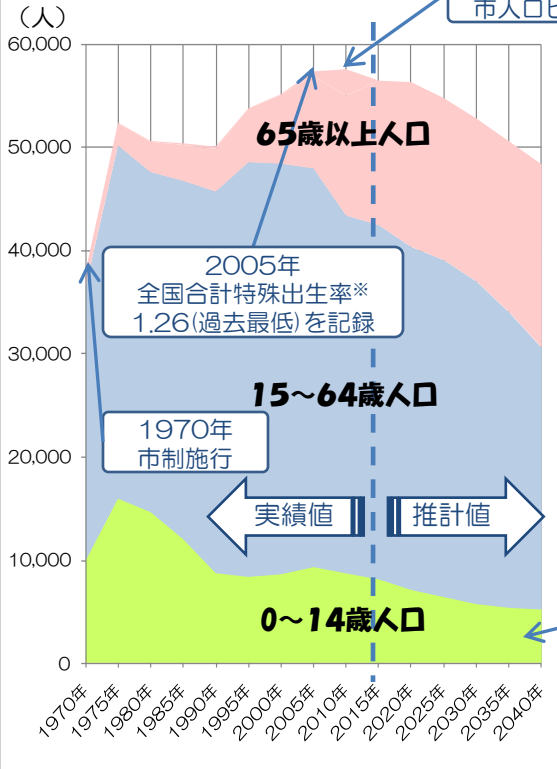
四條畷市教育環境整備計画を策定しました！

少子化の進行にともなう学校規模の不均衡、校舎の老朽化など、教育環境をめぐる課題を解消すべく、市民の皆様や関係諸団体の皆様と意見交換を行い、教育環境整備計画策定に向けて取り組んできました。市立の小・中学校の適正規模及び統廃合を含めた適正配置・再編整備等の考え方について、あらためて審議会を設置し、審議会からの答申を踏まえ、このたび「四條畷市教育環境整備計画(平成27年度～平成32年度)」を策定しました。

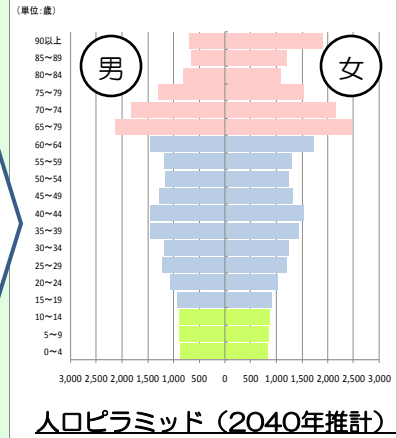
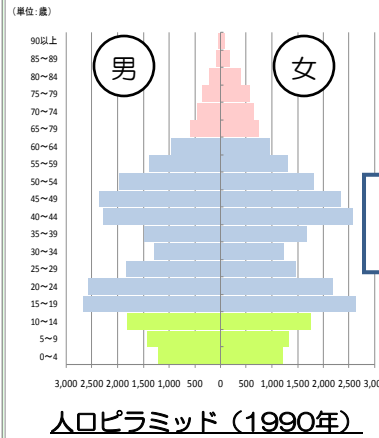
Q1. 四條畷市の子どもが減っているって本当なの？



■四條畷市の人口構造の推移と見通し



※合計特殊出生率：1人の女性が一生に産む子どもの平均数



2040年
約2,900人減少
(2015年比)

**今後6年間で約840人減少(▲24.1%)
学級数にすると21学級の減少**

今後もさらに少子高齢化が進むと予想されます。本市の小学校においても2021年(推計)の児童数は2015年現在の児童数と比較すると約840人減少すると見込まれています。(▲24.1%)
これは1つの学校の規模に相当します。



ある学校のロング休憩

国立社会保障・人口問題研究所「地域別将来推計」データ、国勢調査データ、住民基本台帳データより

Q2. 四條畷市教育環境整備計画ってなに？

～なわての子どもたちに豊かな学びを～

教育の諸課題に対応するため、地域の特性やニーズを踏まえるとともに、一世代先までを見据えた学校規模・配置の適正化や教育環境の向上に向けた施設整備等について、集中的かつ短期的に実施することを目的とした計画

【3つの緊急課題】

- ・少子化にともなう学校規模の適正化
- ・同一小学校からの進学先の相違
- ・校舎の老朽化

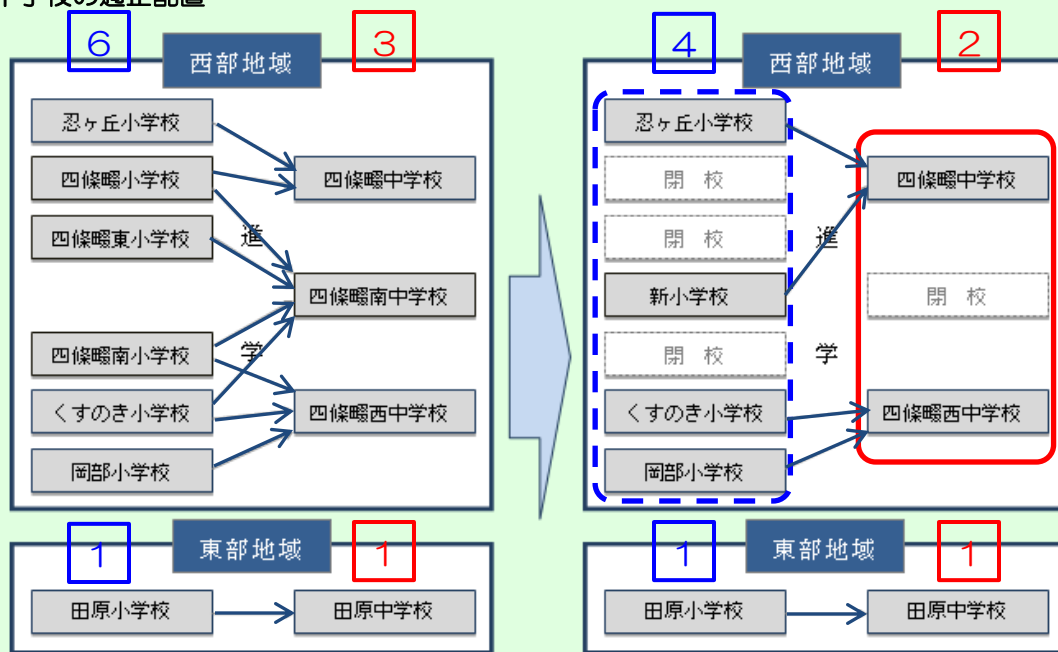
【4つの基本的な考え方】

- 小中学校を配置する場合の原点に立ち返り、一世代(30年程度)を見通した学校再配置を基本
- JRや国道163号の状況を踏まえ、安全対策を最重要視した校区割・学校再配置を基本
- 地域における学校の役割(防災拠点・地域コミュニティ)を念頭に置いた特色ある施設整備計画を策定
- 小中が連携した教育(小中一貫教育)を推進することを基本

Q3. 今までの学校はどうかわるの？



○小中学校の適正配置



小学校は平成32年度から

中学校は平成30年度から



○西部地域の校区再編

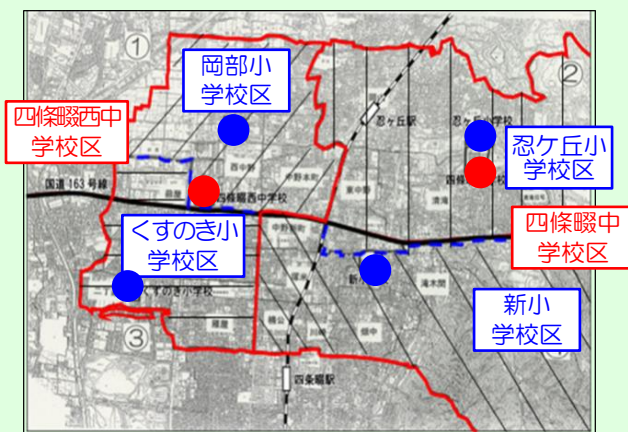
校区割の考え方

基準1

原則として国道163号とJR線を校区の境界線とする
(安全を重視した校区割・学校配置)

基準2

自治会が国道163号・JR線にまたがる場合、自治会の単位を優先する
(地域の自主活動を優先した校区割)



○通学区域の再編（西部地域）

地区	街区番号又は地番等	現小学校区	H32~	現中学校区	H30~
江瀬美町		くのき	四條畷西		
(大字) 逢坂		四條畷	忍ヶ丘	四條畷	
(大字) 岡山		忍ヶ丘	四條畷		
岡山1丁目	1~3・21~25・57番	忍ヶ丘	四條畷		
岡山1丁目	4~20番	岡部	四條畷西		
岡山2丁目	1~7番 (7番15~32号除く)	忍ヶ丘	四條畷		
岡山2丁目	8~21番・7番15~32号	岡部	四條畷西		
岡山3、4丁目		忍ヶ丘	四條畷		
岡山5丁目		岡部	四條畷西		
岡山東1~5丁目		忍ヶ丘	四條畷		
雁屋北町		くのき	四條畷南	四條畷西	
雁屋西町		くのき	四條畷南	四條畷西	
雁屋南町		くのき	四條畷南	四條畷西	
北出町		くのき	四條畷西		
(大字) 清瀬		四條畷	忍ヶ丘	四條畷	
清瀬新町		四條畷	忍ヶ丘	四條畷	
清瀬中町		四條畷	忍ヶ丘	四條畷	
米崎町		四條畷南	新	四條畷南	四條畷
(大字) 藤屋		岡部		四條畷西	

地区	街区番号又は地番等	現小学校区	H32~	現中学校区	H30~
藤屋新町		くのき	四條畷西		
藤屋本町		くのき	四條畷西		
砂1~4丁目		岡部	四條畷西		
身延町		四條畷東	新	四條畷南	四條畷
中野1丁目	1~4番、5番1~6号	四條畷	忍ヶ丘	四條畷南	四條畷
中野1丁目	5番7~17号	四條畷東	新	四條畷南	四條畷
中野2丁目		四條畷	忍ヶ丘	四條畷南	四條畷
中野3丁目		四條畷	忍ヶ丘	四條畷	
(大字) 中野	西日本旅客鐵道株式会社片町線以東の各地域	四條畷	忍ヶ丘	四條畷	
(大字) 中野	国道170号外周状輪以東で国道(旧)170号以西の各地域	岡部		四條畷西	
中野新町		四條畷南	新	四條畷南	四條畷
中野本町	1~27・33~40番	四條畷	岡部	四條畷	四條畷西
中野本町	28~32番	岡部		四條畷西	
梅公1~2丁目		四條畷南	新	四條畷南	四條畷
二丁通町			くのき	四條畷西	
美田町		四條畷南	くのき	四條畷西	
(大字) 南野		四條畷東	新	四條畷南	四條畷
南野1~6丁目		四條畷東	新	四條畷南	四條畷

Q4. 校区が変わるだけで学校はきれいにならないの？



○各学校の立地環境に応じた整備の方針

※計画策定時点での方針であり、今後のワークショップでの意見等も踏まえて決定します。

全校共通	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点としての整備、ICT環境の充実、屋上緑化・太陽光発電設備、教室の空調設置
四條畷中学校	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携を進めるための児童生徒・教職員の共有スペースの整備
四條畷西中学校	<ul style="list-style-type: none"> 市民も利用可能で、分散型エネルギーを活用した屋内温水プール付き体育館の整備 校舎の老朽化対策
四條畷南中学校	<ul style="list-style-type: none"> 新小学校の整備用地
忍ヶ丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携を進めるための児童生徒・教職員の共有スペースの整備 校舎・体育館・プールの老朽化対策
くすのき小学校	<ul style="list-style-type: none"> プールの老朽化対策 カフェの併設など地域の活動拠点ともなる地或りに開かれた学校図書館
新小学校	<ul style="list-style-type: none"> 最新の学習環境、児童の自主活動が充実する施設整備 全ての児童に優しい設計（バリアフリー、ユニバーサルデザイン） 地域との協働スペース、地或コミュニティの拠点となる整備



＜整備イメージ＞

○平成26年度整備済校

岡部小学校	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の老朽化対策工事 トイレの洋式化、LED照明機器の導入 門・フェンス等の防犯対策
-------	--

Q5. 学校がきれいになるのはいいけど、やっぱり通う学校が変わるのは不安だな。

○校区再編の時期に在籍する児童生徒への配慮として

・教育内容や学校行事、生活・学習指導などのすり合わせと児童生徒間の交流を計画的に実施します。

＜中学校区＞

・中野本町地区(平成30年度～)、雁屋地区(平成28年度～)、中野1丁目・2丁目(平成28年度～)については、各地区に応じた指定校変更制度※を創設します。＜経過措置＞

＜小学校区＞

・中野本町地区(平成30年度～)、美田町地区(平成28年度～)については、各地区に応じた指定校変更制度※を創設します。＜経過措置＞



Q6. 通う学校が遠くなるけど、なにか対策はないの？

○通学距離対策として

- ・原則徒歩通学としますが、個別の事情等により、電車等の利用を認めます。
- ・中野新町地区については、四條畷西中学校への指定校変更制度※を創設します。＜恒久措置＞
- ・中野1丁目、中野2丁目の各地区については、新小学校への指定校変更制度※を創設します。＜当分の間の措置＞

各地区の詳細な情報については市HPをご覧くださいか直接お問い合わせください



Q7. 今の通学路って細い道なのに車の通が多くて危ないよ。みんなが安全に歩ける道にして欲しいな。

○通学路の安全対策として

- ・校区再編後の通学路の状況把握、選定、必要な安全対策を実施します。
- ・交通安全上、危険な箇所には、交通誘導員等を配置します。
- ・子どもたちが交通ルールをしっかり守るなどの安全教育を推進します。



Q8. 途中で中学校が変わる場合、クラブ活動はどうなるの？

○統合準備委員会による円滑な転籍のための対策として

- ・教育内容や学校行事、生活・学習指導などのすり合わせと児童生徒間の交流を計画的に実施します。
- ・クラブ活動については、事前に中学校間でのクラブ交流や合同練習などができるように学校間で準備します。



Q9. 将来的に子どもの数は減っていくけど、統合したときは学校が減るから子どもの数が増えるんじゃないの？

○一時的な児童生徒数の増加に対して

- ・質の高い教育環境の整備とあわせ、教室不足解消のための整備を実施します。
- ・通常授業やクラブ活動での市内公共施設利用や学校間でのグラウンド等の相互利用の検討をします。



※指定校変更制度：個別の事情により指定された通学区域以外の学校に指定を変更(選択)できる制度

Q10. 学校再編や施設の整備が進むと教育内容はどうかかわるの？

○すべての子どもたちの生きる力を育成するために

- ・読書環境の充実、ICT環境の整備など、学力向上に役立つ環境づくりを進めます。
- ・小中連携や地域との協働、体育施設の整備など、安心・快適な学校づくりをめざします。
- ・一定の教職員数の確保に努め、児童生徒への指導や教材研究に充てる時間の増加をめざします。

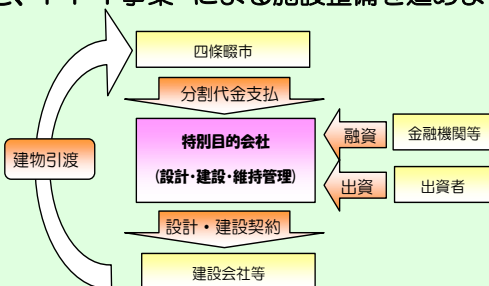


Q11. 市の財政状況って厳しいって聞いているけど、大丈夫なの？

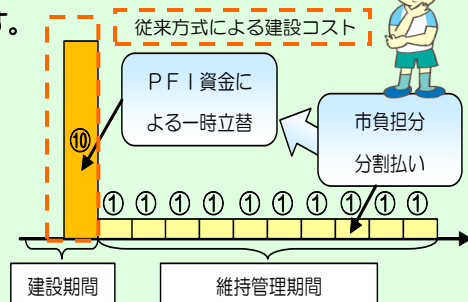
○平成27年度から、本計画に基づき、PFI事業*による施設整備を進めます。

★PFIのメリット★

- 事業者が設計・建設・維持管理まで一貫して行うことからより安く、より質の高いサービスの提供が可能
- 従来手法では建設時に費用負担が一度に発生するが、PFIでは建設後15年～20年の分割払いが可能



《事業のイメージ》



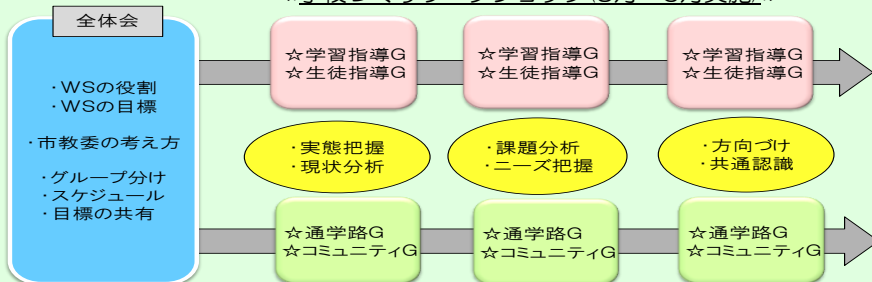
《分割払いのイメージ》

※PFI事業：民間の資金・技術・ノウハウを活用し、公共施設等の建設・維持管理等を行う手法。

Q12. 今後どうやって進めていくの？

- ★学校再編の機会を好機としてとらえ、学校、保護者、地域、子どもたちのそれぞれが主体的に学校づくりに取り組みます。
- ★保護者、地域住民、教職員等参画の「学校づくりワークショップ」を立ち上げ、今後の四條畷市における学校づくりについて、ともに考えていきます。
- ★指定校変更に伴う詳細の手続きや統合準備委員会による具体的な統合に係る準備も同時に進めます。

《学校づくりワークショップ(5月～6月実施)》



《統合準備委員会》



みんなで意見を出し合って
素晴らしい学校・
地域にしたいね



地域の人たちとも
協力しながら、なわて
の伝統を引き継ぎつつ
新しい時代に対応できる
学校をつくりたいな

《参考》これまでの経過

平成23年11月 「四條畷市学校規模適正化基本方針」(学校規模の均衡化・校区編成の改善)
平成23年12月～平成24年6月 市民への説明、意見聴取、議会反対決議
平成23年12月～平成24年8月 学校適正配置審議会(全9回)

平成24年 9月～ 学校適正配置計画策定 庁内検討委員会(関係9課長)
平成25年 3月～ 学校適正配置計画策定に向けた市民会議(全7回)
平成26年 3月～ 学校適正配置についての基本的な考え方(素案)を関係団体に周知・意見集約

平成26年 9月～ まちづくり意見交換会
平成26年12月 経過報告会

平成27年 1月～ 学校適正配置審議会
平成27年 3月 教育委員会会議

策定

教育環境
整備計画

＜平成27年3月＞

＜担当＞

四條畷市教育委員会
教育部教育環境整備室
電話:072-877-2121
0743-71-0330

※詳細は市HPをご覧ください